

新旧対照表

千葉県の大規模氾濫に関する地域の取組方針

現行	改定（案）
<p>1. はじめに</p> <p>2. 協議会の構成員 [圏域共通] 千葉県防災危機管理部防災政策課長 千葉県防災危機管理部危機管理課長</p> <p>[利根川圏域] 香取市長 酒々井町長</p> <p>[東京湾圏域] 亀山・片倉ダム管理事務所長 高滝ダム管理事務所長</p> <p>[九十九里圏域] 千葉県長生土木事務所長 茂原市長</p> <p>3. 地域の概要と主な課題 3.1 千葉県の概要と圏域</p> <p><千葉県圏域図></p> <p>3.2 地形的特徴 3.2.1 利根川圏域 「利根川圏域」は、県の北部に位置し、利根川に流入する河川流域の銚子市、成田市、佐倉市、柏市、我孫子市、四街道市、印西市、白井市、富里市、香取市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、芝山町の10市6町が関係している。</p>	<p>1. はじめに</p> <p>2. 協議会の構成員 [圏域共通] 千葉県防災危機管理部危機管理政策課長 千葉県防災危機管理部防災対策課長</p> <p>[利根川圏域] 香取市長 八街市長 酒々井町長</p> <p>[東京湾圏域] 千葉県亀山・片倉ダム管理事務所長 千葉県高滝ダム管理事務所長</p> <p>[九十九里圏域] 千葉県長生土木事務所長 千葉県一宮川改修事務所長 茂原市長</p> <p>3. 地域の概要と主な課題 3.1 千葉県の概要と圏域</p> <p><千葉県圏域図> <u>一宮川改修事務所を追記</u></p> <p>3.2 地形的特徴 3.2.1 利根川圏域 「利根川圏域」は、県の北部に位置し、利根川に流入する河川流域の銚子市、成田市、佐倉市、柏市、我孫子市、四街道市、印西市、白井市、富里市、香取市、<u>八街市</u>、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、芝山町の11市6町が関係している。</p>

3.2.2 江戸川圏域

3.2.3 東京湾圏域

3.2.4 九十九里圏域

3.2.5 房総圏域

3.3 過去の被害状況

平成8年7月8日から7月11日にかけての・・・

3.4 主な課題

千葉県が管理する河川では、改修事業が行われているものの、平成25年の台風第26号による被害など、近年においても水害被害が発生している。

また、全国的には平成27年9月関東・東北豪雨により鬼怒川等で大規模な浸水被害が発生した。さらに平成28年8月以降に相次いで発生した台風による豪雨災害では、中小河川においても甚大な被害が発生した。

こうした被害は、条件さえ重なればどこでも起こりうることから、本県独自の課題や全国の中小河川における共通課題などを整理し、以下のとおり課題を抽出した。

・緊急時における情報伝達の不確実性、水害リスク情報や避難勧告発令に必要な情報が不十分であり、円滑かつ適切な避難誘導に課題がある。

3.2.2 江戸川圏域

3.2.3 東京湾圏域

3.2.4 九十九里圏域

3.2.5 房総圏域

3.3 過去の被害状況

平成8年7月8日から11日にかけての・・・

令和元年では、房総半島台風に始まり、東日本台風及び10月25日の大雨により三度の災害があり、平成25年の台風26号よりも多数の人的被害（死者20人、負傷者20人、軽症者104人）の他、広範囲に及ぶ家屋被害（全壊514棟、半壊6,962棟、一部損壊89,890棟、床上浸水181棟、床下浸水617棟）、がけ崩れ等（164箇所）、道路被害（222箇所）、河川施設（護岸崩落等160箇所）の損害等を蒙る他、停電が述べ約80万軒、断水が述べ約14万軒発生するほか、各地で鉄道運休や道路の通行止めも発生し、県民の生活、経済活動に大きな支障を与えた。

3.4 主な課題

千葉県が管理する河川では、改修事業が行われているものの、令和元年の房総半島台風や東日本台風、10月25日の大雨による被害など、近年においても水害被害が発生している。

また、全国的には令和元年の東日本台風により千曲川等で大規模な浸水被害が発生した。さらに令和2年8月に発生した台風による豪雨災害では、中小河川においても甚大な被害が発生した。

こうした被害は、条件さえ重なればどこでも起こりうることから、本県独自の課題や全国の中小河川における共通課題などを整理し、以下のとおり課題を抽出した。

・緊急時における情報伝達の不確実性、水害リスク情報や避難指示発令に必要な情報が不十分であり、円滑かつ適切な避難誘導に課題がある。

<p>4. 現状の取組状況等 4.1 円滑かつ迅速な避難のための取組 4.1.1 災害時の情報伝達、避難計画等に関する事項 【A災害時の住民への情報伝達に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="203 284 264 347">現状</td> <td data-bbox="277 284 1095 347"> <ul style="list-style-type: none"> ■避難情報は、防災行政無線等により住民に伝達している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="203 352 264 699">課題</td> <td data-bbox="277 352 1095 699"> <ul style="list-style-type: none"> ■避難情報が全ての地域住民等に伝わっていない恐れがある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢高気密住宅が増えていることに加え、風雨等の影響により広報車等の音声による情報の聞き取りが困難となることがある。 ➢高齢者等の避難行動要支援者や、情報入手ツールを持たない住民の避難が遅れる可能性がある。 ■水位情報等の防災情報が地域住民等にとってわかりにくい可能性がある。または住民等が行動しやすい避難勧告の伝達文の検討が必要となる。 ■情報を正しく活用するには、住民の平時からの防災意識の向上を図る必要がある。 ■河川水位等の情報を提供できる河川が限られている。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難情報は、防災行政無線等により住民に伝達している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■避難情報が全ての地域住民等に伝わっていない恐れがある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢高気密住宅が増えていることに加え、風雨等の影響により広報車等の音声による情報の聞き取りが困難となることがある。 ➢高齢者等の避難行動要支援者や、情報入手ツールを持たない住民の避難が遅れる可能性がある。 ■水位情報等の防災情報が地域住民等にとってわかりにくい可能性がある。または住民等が行動しやすい避難勧告の伝達文の検討が必要となる。 ■情報を正しく活用するには、住民の平時からの防災意識の向上を図る必要がある。 ■河川水位等の情報を提供できる河川が限られている。 	<p>4. 現状の取組状況等 4.1 円滑かつ迅速な避難のための取組 4.1.1 災害時の情報伝達、避難計画等に関する事項 【A災害時の住民への情報伝達に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1133 284 1193 347">現状</td> <td data-bbox="1214 284 2009 347"> <ul style="list-style-type: none"> ■避難情報は、防災行政無線等により住民に伝達している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1133 352 1193 699">課題</td> <td data-bbox="1214 352 2009 699"> <ul style="list-style-type: none"> ■避難情報が全ての地域住民等に伝わっていない恐れがある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢高気密住宅が増えていることに加え、風雨等の影響により広報車等の音声による情報の聞き取りが困難となることがある。 ➢高齢者等の要配慮者や、情報入手ツールを持たない住民の避難が遅れる可能性がある。 ■水位情報等の防災情報が地域住民等にとってわかりにくい可能性がある。または住民等が行動しやすい避難指示の伝達文の検討が必要となる。 ■情報を正しく活用するには、住民の平時からの防災意識の向上を図る必要がある。 ■河川水位等の情報を提供できる河川が限られている。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難情報は、防災行政無線等により住民に伝達している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■避難情報が全ての地域住民等に伝わっていない恐れがある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢高気密住宅が増えていることに加え、風雨等の影響により広報車等の音声による情報の聞き取りが困難となることがある。 ➢高齢者等の要配慮者や、情報入手ツールを持たない住民の避難が遅れる可能性がある。 ■水位情報等の防災情報が地域住民等にとってわかりにくい可能性がある。または住民等が行動しやすい避難指示の伝達文の検討が必要となる。 ■情報を正しく活用するには、住民の平時からの防災意識の向上を図る必要がある。 ■河川水位等の情報を提供できる河川が限られている。
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難情報は、防災行政無線等により住民に伝達している。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■避難情報が全ての地域住民等に伝わっていない恐れがある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢高気密住宅が増えていることに加え、風雨等の影響により広報車等の音声による情報の聞き取りが困難となることがある。 ➢高齢者等の避難行動要支援者や、情報入手ツールを持たない住民の避難が遅れる可能性がある。 ■水位情報等の防災情報が地域住民等にとってわかりにくい可能性がある。または住民等が行動しやすい避難勧告の伝達文の検討が必要となる。 ■情報を正しく活用するには、住民の平時からの防災意識の向上を図る必要がある。 ■河川水位等の情報を提供できる河川が限られている。 								
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難情報は、防災行政無線等により住民に伝達している。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■避難情報が全ての地域住民等に伝わっていない恐れがある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢高気密住宅が増えていることに加え、風雨等の影響により広報車等の音声による情報の聞き取りが困難となることがある。 ➢高齢者等の要配慮者や、情報入手ツールを持たない住民の避難が遅れる可能性がある。 ■水位情報等の防災情報が地域住民等にとってわかりにくい可能性がある。または住民等が行動しやすい避難指示の伝達文の検討が必要となる。 ■情報を正しく活用するには、住民の平時からの防災意識の向上を図る必要がある。 ■河川水位等の情報を提供できる河川が限られている。 								
<p>【B行政・水防機関間の防災情報の共有に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="203 767 264 959">現状</td> <td data-bbox="277 767 1095 959"> <ul style="list-style-type: none"> ■避難勧告の発令の目安となる氾濫危険情報を提供している。 ■基準観測所の水位により水防警報を発表している。 ■出水時には、水防本部等と水防管理団体等との連絡体制を設定している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="203 963 264 1283">課題</td> <td data-bbox="277 963 1095 1283"> <ul style="list-style-type: none"> ■迅速かつ正確な河川水位等に係る情報提供が課題である。 ■避難勧告・指示等のタイミングや判断に苦慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢大規模水害における避難勧告の発令や、広域避難の実態の判断基準に課題がある。 ➢避難勧告の発令に際し、降雨や水位予測が難しい状況の中で適切なタイミングでの発令基準に課題がある。 ■非常時に災害拠点病院等に水害リスク情報が確実に伝達されるか懸念がある。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難勧告の発令の目安となる氾濫危険情報を提供している。 ■基準観測所の水位により水防警報を発表している。 ■出水時には、水防本部等と水防管理団体等との連絡体制を設定している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■迅速かつ正確な河川水位等に係る情報提供が課題である。 ■避難勧告・指示等のタイミングや判断に苦慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢大規模水害における避難勧告の発令や、広域避難の実態の判断基準に課題がある。 ➢避難勧告の発令に際し、降雨や水位予測が難しい状況の中で適切なタイミングでの発令基準に課題がある。 ■非常時に災害拠点病院等に水害リスク情報が確実に伝達されるか懸念がある。 	<p>【B行政・水防関係機関間の防災情報の共有に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1133 767 1193 959">現状</td> <td data-bbox="1214 767 2009 959"> <ul style="list-style-type: none"> ■避難指示の発令の目安となる氾濫危険情報を提供している。 ■基準観測所の水位により水防警報を発表している。 ■出水時には、水防本部等と水防管理団体等との連絡体制を設定している。 ■<u>県管理ダムでは、関係市とタイムラインを作成し、緊急放流を行う際の情報提供を出来るようにしている。</u> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1133 963 1193 1347">課題</td> <td data-bbox="1214 963 2009 1347"> <ul style="list-style-type: none"> ■迅速かつ正確な河川水位等に係る情報提供が課題である。 ■避難指示等のタイミングや判断に苦慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢大規模水害における避難指示の発令や、広域避難の実態の判断基準に課題がある。 ➢避難指示の発令に際し、降雨や水位予測が難しい状況の中で適切なタイミングでの発令基準に課題がある。 ■<u>利水ダムにおいては、治水協定に基づく事前放流の対応を行っているが、関係機関との情報提供の方法が確立していない。</u> ■<u>関係機関との連携を図る必要があるが、避難指示に着目したタイムラインを運用開始したばかりであり、状況を検討する必要がある。</u> </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難指示の発令の目安となる氾濫危険情報を提供している。 ■基準観測所の水位により水防警報を発表している。 ■出水時には、水防本部等と水防管理団体等との連絡体制を設定している。 ■<u>県管理ダムでは、関係市とタイムラインを作成し、緊急放流を行う際の情報提供を出来るようにしている。</u> 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■迅速かつ正確な河川水位等に係る情報提供が課題である。 ■避難指示等のタイミングや判断に苦慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢大規模水害における避難指示の発令や、広域避難の実態の判断基準に課題がある。 ➢避難指示の発令に際し、降雨や水位予測が難しい状況の中で適切なタイミングでの発令基準に課題がある。 ■<u>利水ダムにおいては、治水協定に基づく事前放流の対応を行っているが、関係機関との情報提供の方法が確立していない。</u> ■<u>関係機関との連携を図る必要があるが、避難指示に着目したタイムラインを運用開始したばかりであり、状況を検討する必要がある。</u>
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難勧告の発令の目安となる氾濫危険情報を提供している。 ■基準観測所の水位により水防警報を発表している。 ■出水時には、水防本部等と水防管理団体等との連絡体制を設定している。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■迅速かつ正確な河川水位等に係る情報提供が課題である。 ■避難勧告・指示等のタイミングや判断に苦慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢大規模水害における避難勧告の発令や、広域避難の実態の判断基準に課題がある。 ➢避難勧告の発令に際し、降雨や水位予測が難しい状況の中で適切なタイミングでの発令基準に課題がある。 ■非常時に災害拠点病院等に水害リスク情報が確実に伝達されるか懸念がある。 								
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難指示の発令の目安となる氾濫危険情報を提供している。 ■基準観測所の水位により水防警報を発表している。 ■出水時には、水防本部等と水防管理団体等との連絡体制を設定している。 ■<u>県管理ダムでは、関係市とタイムラインを作成し、緊急放流を行う際の情報提供を出来るようにしている。</u> 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■迅速かつ正確な河川水位等に係る情報提供が課題である。 ■避難指示等のタイミングや判断に苦慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢大規模水害における避難指示の発令や、広域避難の実態の判断基準に課題がある。 ➢避難指示の発令に際し、降雨や水位予測が難しい状況の中で適切なタイミングでの発令基準に課題がある。 ■<u>利水ダムにおいては、治水協定に基づく事前放流の対応を行っているが、関係機関との情報提供の方法が確立していない。</u> ■<u>関係機関との連携を図る必要があるが、避難指示に着目したタイムラインを運用開始したばかりであり、状況を検討する必要がある。</u> 								

【C避難勧告等の発令に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難勧告判断マニュアルや避難勧告等の発令に関する内容を地域防災計画等で決めている。 ■避難勧告の発令にあたって、水位観測所の避難注意水位、氾濫警戒（危険）情報等の他、土砂災害警戒情報も目安として発令している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■避難勧告・指示等のタイミングや判断に苦慮している。 ➢大規模水害における避難勧告の発令や、広域避難の実施の判断基準に課題がある。 ➢避難勧告の発令に際し、降雨や水位予測が難しい状況の中で、適切なタイミングでの発令基準に課題がある。 ■水位計の無い区間など、情報提供の難しい区間がある。

【D避難場所や避難経路の確保に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■水位周知河川における計画規模の降雨による洪水浸水想定区域図を千葉県 HP 等で公表するとともに、関係市町村にそのデータを提供している。 ■洪水浸水想定区域図に基づき計画規模の降雨に対する洪水ハザードマップ等を作成し、浸水範囲、避難所、避難場所を周知している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模水害の場合、避難場所や避難経路が浸水し、住民が適切に避難できない可能性がある。 ■多くの避難者が集中した場合に、避難所に避難者を収容できないことが懸念される。 ■浸水・土砂崩れ等の理由から近傍の避難所や避難場所が使用できないことや、多数の孤立者が発生することが懸念される。 ■主要道路が途絶した場合の避難所等の備蓄は必ずしも十分でない。 ■想定最大規模の浸水想定区域図が策定されていないことから、地域住民等が大規模水害時の浸水リスクを十分認識できていないおそれがある。

【E住民の避難行動に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■住民自らが避難経路を事前確認するよう啓発している。 ■出前講座やマイ防災マップ作成の取組を通じて、避難場所や避難路、状況に応じて垂直避難を選択するなど地域住民がとるべき避難行動について周知している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な避難経路を設定していないため、確実な住民の避難に課題がある。 ■氾濫形態によって、地域毎に避難方法が異なる。 ■水害時における関係機関の効率的な誘導體制の確保が課題である。 ■適切な避難のためには、住民の避難意識の向上を図る必要がある。

【C避難指示等の発令に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■避難情報に関するガイドラインや避難指示の発令に関する内容を地域防災計画等で決めている。 ■避難指示の発令にあたって、水位観測所の氾濫情報等の他、土砂災害警戒情報も目安として発令している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■避難指示等のタイミングや判断に苦慮している。 ➢大規模水害における避難指示の発令や、広域避難の実施の判断基準に課題がある。 ➢避難指示の発令に際し、降雨や水位予測が難しい状況の中で、適切なタイミングでの発令基準に課題がある。 ■水位計の無い区間など、情報提供の難しい区間がある。

【D避難場所や避難経路の確保に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■県管理河川における想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図を千葉県 HP 等で公表するとともに、関係市町村にそのデータを提供している。 ■洪水浸水想定区域図に基づき洪水ハザードマップ等を作成し、浸水範囲、避難所、避難場所を周知している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模水害の場合、避難場所や避難経路が浸水し、住民が適切に避難できない可能性がある。 ■多くの避難者が集中した場合に、避難所に避難者を収容できないことが懸念される。 ■浸水・土砂崩れ等の理由から近傍の避難所や避難場所が使用できないことや、多数の孤立者が発生することが懸念される。 ■主要道路が途絶した場合の避難所等の備蓄は必ずしも十分でない。 ■水位周知河川とその支川以外の浸水想定区域図が策定されていないことから、地域住民等が浸水リスクを十分認識できていないおそれがある。

【E住民の避難行動に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■住民自らが避難経路を事前確認するよう啓発している。 ■出前講座やマイ・タイムライン・マイ防災マップ作成の取組を通じて、避難場所や避難路、状況に応じて垂直避難を選択するなど地域住民がとるべき避難行動について周知している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な避難経路を設定していないため、確実な住民の避難に課題がある。 ■氾濫形態によって、地域毎に避難方法が異なる。 ■水害時における関係機関の効率的な誘導體制の確保が課題である。 ■適切な避難のためには、住民の避難意識の向上を図る必要がある。

【F要配慮者の避難に関する課題】	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ■要配慮者の避難誘導は、自治体職員、警察官、水防団、自主防災組織等が連携して、実施している。 ■また、平常時から要配慮者名簿を作成し、自主防災組織等関係機関に提供しているとともに、要配慮者利用施設の避難確保計画策定を支援・指導している。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ■水害時における関係機関の効率的な誘導體制の確保が課題である。 ■急激な水位上昇に対する要配慮者の迅速な避難が懸念される。 ■主要道路が途絶した場合の要配慮者等の迅速な避難体制が十分確保できない。

4.1.2 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

【G平時の水害リスク周知に関する課題】	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ■水位周知河川における計画規模の降雨による浸水想定区域図を千葉県HP等で公表するとともに、関係市町村にそのデータを提供している。 ■洪水浸水想定区域図に基づき、計画規模の降雨に対する洪水ハザードマップ等を作成し、浸水範囲、避難所、避難場所を周知している。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ■地域住民等が大規模浸水時の浸水リスクを十分認識できていないおそれがある。 ■浸水想定区域等が十分に住民に認識されていないことが課題である。

【H防災意識の啓発に関する課題】	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模水害時の浸水リスクを住民に周知するため、ハザードマップの取組、出前講座の開催等の防災意識向上の取組を行っている。 ➢避難勧告等判断基準マニュアル概要版の配布、自主防災組織等が開催する防災訓練等への訓練指導としての参加など防災意識向上の取組を行っている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ■現状の取組は、住民の自主的な情報取得に頼っており、地域全体の取組に繋がっていない可能性がある。

【F要配慮者利用施設や地下施設、大規模工場等の避難に関する課題】	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村の地域防災計画に施設の名称や所在地を定めている。 ■要配慮者の避難誘導は、自治体職員、警察官、水防団、自主防災組織等が連携して、実施している。 ■また、平常時から要配慮者名簿を作成し、自主防災組織等関係機関に提供しているとともに、要配慮者利用施設の避難確保計画策定を支援・指導している。 ■地下街等の利用者の避難の確保や浸水の防止のための措置に関する計画の作成等を行うこととなっている。 ■大規模工場等における浸水の防止のための措置に関する計画の作成等を行うこととなっている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ■水害時における関係機関の効率的な誘導體制の確保が課題である。 ■急激な水位上昇に対する要配慮者の迅速な避難が懸念される。 ■主要道路が途絶した場合の要配慮者等の迅速な避難体制が十分確保できない。 ■要配慮者利用施設の避難計画の策定は進んでいるが、地下施設や大規模工場等の避難計画については進んでいるとは言い難い。

4.1.2 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

【G平時の水害リスク周知に関する課題】	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ■県管理河川における想定最大規模の降雨による浸水想定区域図を千葉県HP等で公表するとともに、関係市町村にそのデータを提供している。 ■洪水浸水想定区域図に基づき、洪水ハザードマップ等を作成し、浸水範囲、避難所、避難場所を周知している。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ■地域住民等が大規模浸水時の浸水リスクを十分認識できていないおそれがある。 ■浸水想定区域等が十分に住民に認識されていないことが課題である。 ■道路冠水などでの情報が十分認識されていないおそれがある。

【H防災意識の啓発に関する課題】	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模水害時の浸水リスクを住民に周知するため、ハザードマップの取組、出前講座の開催等の防災意識向上の取組を行っている。 ➢避難情報に関するガイドライン概要版の配布、自主防災組織等が開催する防災訓練等への訓練指導としての参加など防災意識向上の取組を行っている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ■現状の取組は、住民の自主的な情報取得に頼っており、地域全体の取組に繋がっていない可能性がある。

【 I 避難訓練に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■総合防災訓練や地区単位での避難訓練を実施している。 ➢自主防災組織による避難訓練や要配慮者に対応した避難訓練を実施している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■地域住民の避難行動に繋がる実践的な訓練となっているか懸念される。 ■要配慮者に対応した避難訓練や、地域の実情を踏まえた訓練となっているか懸念される。

4.1.3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項

【 J 河川の状況把握に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■水位周知河川等に対し水位計を設置し、テレメータにより一元管理している。 ■橋脚等に量水標を設置し、水防団や住民が水位を把握できるようにしている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■水位計を設置していない河川について、水位等の情報を得る手段が巡回等個別のものしかない。

【 K 水防資機材に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■水防計画に水防資機材の配置数量を記載して、県・市町村等の関係機関に配布している。 ➢水防倉庫や消防倉庫等に、土のう袋やブルーシート、縄等の水防資機材が備蓄されている。 ➢側帯等に水防用土砂を備蓄している。 ➢排水ポンプ車を保有している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■水防団と河川管理者が連携して的確な水防活動を実施するための適切な資機材が配置されていない恐れがある。 ➢大規模水害に対応した水防資機材の拡充が必要である。 ➢水防活動に必要なルートが浸水する恐れがある。 ■水防資機材の保有数量を定期的に確認し、適切な補充及びメンテナンスの実施が課題である。

【 I 避難訓練に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■総合防災訓練や地区単位での避難訓練を実施している。 ➢自主防災組織による避難訓練や要配慮者に対応した避難訓練を実施している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■地域住民の避難行動に繋がる実践的な訓練となっているか懸念される。 ■要配慮者に対応した避難訓練や、地域の実情を踏まえた訓練となっているか懸念される。

4.1.3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項

【 J 河川の状況把握に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■水位周知河川等に対し水位計を設置し、テレメータにより一元管理している。 ■橋脚等に量水標を設置し、水防団や住民が水位を把握できるようにしている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■水位計を設置していない河川について、水位等の情報を得る手段が巡回等個別のものしかない。

【 K 水防資機材に関する課題】	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■水防計画に水防資機材の配置数量を記載して、県・市町村等の関係機関に配布している。 ➢水防倉庫や消防倉庫等に、土のう袋やブルーシート、縄等の水防資機材が備蓄されている。 ➢側帯等に水防用土砂を備蓄している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■水防団と河川管理者が連携して的確な水防活動を実施するための適切な資機材が配置されていない恐れがある。 ➢大規模水害に対応した水防資機材の拡充が必要である。 ➢水防活動に必要なルートが浸水する恐れがある。 ■水防資機材の保有数量を定期的に確認し、適切な補充及びメンテナンスの実施が課題である。

<p>4.2 的確な水防活動のための取組 4.2.1 水防体制の強化に関する事項 【L河川巡視に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="183 239 257 399">現状</td> <td data-bbox="257 239 1108 399"> <ul style="list-style-type: none"> ■河川管理施設を点検するための河川巡視を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢出水期前に、自治体、水防団等と重要水防箇所の合同巡視を実施している。 ➢出水時には、水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="183 399 257 510">課題</td> <td data-bbox="257 399 1108 510"> <ul style="list-style-type: none"> ■河川巡視で得られる堤防等の被災情報が水防団と河川管理者で十分共有されていないおそれがある。 ■限られた時間・人員での広域的な巡視の確実な実施に課題がある。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■河川管理施設を点検するための河川巡視を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢出水期前に、自治体、水防団等と重要水防箇所の合同巡視を実施している。 ➢出水時には、水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川巡視で得られる堤防等の被災情報が水防団と河川管理者で十分共有されていないおそれがある。 ■限られた時間・人員での広域的な巡視の確実な実施に課題がある。 	<p>4.2 的確な水防活動のための取組 4.2.1 水防体制の強化に関する事項 【L河川巡視に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1108 239 1187 399">現状</td> <td data-bbox="1187 239 2033 399"> <ul style="list-style-type: none"> ■河川管理施設を点検するための河川巡視を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢出水期前に、自治体、水防団等と重要水防箇所の合同巡視を実施している。 ➢出水時には、水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1108 399 1187 510">課題</td> <td data-bbox="1187 399 2033 510"> <ul style="list-style-type: none"> ■河川巡視で得られる堤防等の被災情報が水防団と河川管理者で十分共有されていないおそれがある。 ■限られた時間・人員での広域的な巡視の確実な実施に課題がある。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■河川管理施設を点検するための河川巡視を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢出水期前に、自治体、水防団等と重要水防箇所の合同巡視を実施している。 ➢出水時には、水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川巡視で得られる堤防等の被災情報が水防団と河川管理者で十分共有されていないおそれがある。 ■限られた時間・人員での広域的な巡視の確実な実施に課題がある。
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■河川管理施設を点検するための河川巡視を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢出水期前に、自治体、水防団等と重要水防箇所の合同巡視を実施している。 ➢出水時には、水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川巡視で得られる堤防等の被災情報が水防団と河川管理者で十分共有されていないおそれがある。 ■限られた時間・人員での広域的な巡視の確実な実施に課題がある。 								
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■河川管理施設を点検するための河川巡視を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢出水期前に、自治体、水防団等と重要水防箇所の合同巡視を実施している。 ➢出水時には、水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川巡視で得られる堤防等の被災情報が水防団と河川管理者で十分共有されていないおそれがある。 ■限られた時間・人員での広域的な巡視の確実な実施に課題がある。 								
<p>【M水防団等に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="183 558 257 638">現状</td> <td data-bbox="257 558 1108 638"> <ul style="list-style-type: none"> ■自主防災組織の結成と活動の促進に取り組んでいる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="183 638 257 710">課題</td> <td data-bbox="257 638 1108 710"> <ul style="list-style-type: none"> ■水防団員の高齢化やなり手不足、サラリーマン化からの水防団の機動力について懸念がある。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■自主防災組織の結成と活動の促進に取り組んでいる。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■水防団員の高齢化やなり手不足、サラリーマン化からの水防団の機動力について懸念がある。 	<p>【M水防団等に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1108 558 1187 638">現状</td> <td data-bbox="1187 558 2033 638"> <ul style="list-style-type: none"> ■自主防災組織の結成と活動の促進に取り組んでいる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1108 638 1187 710">課題</td> <td data-bbox="1187 638 2033 710"> <ul style="list-style-type: none"> ■水防団員の高齢化やなり手不足、サラリーマン化による水防団の機動力について懸念がある。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■自主防災組織の結成と活動の促進に取り組んでいる。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■水防団員の高齢化やなり手不足、サラリーマン化による水防団の機動力について懸念がある。
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■自主防災組織の結成と活動の促進に取り組んでいる。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■水防団員の高齢化やなり手不足、サラリーマン化からの水防団の機動力について懸念がある。 								
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■自主防災組織の結成と活動の促進に取り組んでいる。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■水防団員の高齢化やなり手不足、サラリーマン化による水防団の機動力について懸念がある。 								
<p>【N水防訓練に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="183 758 257 837">現状</td> <td data-bbox="257 758 1108 837"> <ul style="list-style-type: none"> ■水防技術の向上や連携協力体制の確立等を目的として総合防災訓練を実施している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="183 837 257 973">課題</td> <td data-bbox="257 837 1108 973"> <ul style="list-style-type: none"> ■河川管理者と自治体間で、河川水位等の状況や予測、被害状況、及び避難勧告・避難指示発令状況等の情報共有が十分でない。 ■水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が減少し、適切な水防活動に懸念がある。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■水防技術の向上や連携協力体制の確立等を目的として総合防災訓練を実施している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川管理者と自治体間で、河川水位等の状況や予測、被害状況、及び避難勧告・避難指示発令状況等の情報共有が十分でない。 ■水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が減少し、適切な水防活動に懸念がある。 	<p>【N水防訓練に関する課題】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1108 758 1187 837">現状</td> <td data-bbox="1187 758 2033 837"> <ul style="list-style-type: none"> ■水防技術の向上や連携協力体制の確立等を目的として総合防災訓練を実施している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1108 837 1187 973">課題</td> <td data-bbox="1187 837 2033 973"> <ul style="list-style-type: none"> ■河川管理者と自治体間で、河川水位等の状況や予測、被害状況、及び避難指示発令状況等の情報共有が十分でない。 ■水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が減少し、適切な水防活動に懸念がある。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■水防技術の向上や連携協力体制の確立等を目的として総合防災訓練を実施している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川管理者と自治体間で、河川水位等の状況や予測、被害状況、及び避難指示発令状況等の情報共有が十分でない。 ■水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が減少し、適切な水防活動に懸念がある。
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■水防技術の向上や連携協力体制の確立等を目的として総合防災訓練を実施している。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川管理者と自治体間で、河川水位等の状況や予測、被害状況、及び避難勧告・避難指示発令状況等の情報共有が十分でない。 ■水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が減少し、適切な水防活動に懸念がある。 								
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■水防技術の向上や連携協力体制の確立等を目的として総合防災訓練を実施している。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川管理者と自治体間で、河川水位等の状況や予測、被害状況、及び避難指示発令状況等の情報共有が十分でない。 ■水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が減少し、適切な水防活動に懸念がある。 								
<p>4.2.2 市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項 【○市町村庁舎や拠点災害病院等の自衛水防】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="183 1053 257 1212">現状</td> <td data-bbox="257 1053 1108 1212"> <ul style="list-style-type: none"> ■浸水想定区域内の災害拠点病院等の立地状況を確認している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢洪水浸水想定区域内に該当する庁舎において、代替施設の設定、浸水しない2階以上に対策本部の設置及び非常電源の設置等の対応を実施している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="183 1212 257 1455">課題</td> <td data-bbox="257 1212 1108 1455"> <ul style="list-style-type: none"> ■非常時に災害拠点病院等に水害リスク情報が確実に伝達されるか懸念される。 ■大規模水害時には、災害拠点となる庁舎が浸水し、機能が低下・停止しないようにすることが課題である。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■浸水想定区域内の災害拠点病院等の立地状況を確認している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢洪水浸水想定区域内に該当する庁舎において、代替施設の設定、浸水しない2階以上に対策本部の設置及び非常電源の設置等の対応を実施している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■非常時に災害拠点病院等に水害リスク情報が確実に伝達されるか懸念される。 ■大規模水害時には、災害拠点となる庁舎が浸水し、機能が低下・停止しないようにすることが課題である。 	<p>4.2.2 市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項 【○市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防】</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1108 1053 1187 1212">現状</td> <td data-bbox="1187 1053 2033 1212"> <ul style="list-style-type: none"> ■浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等の立地状況を確認している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢洪水浸水想定区域内に該当する庁舎において、代替施設の設定、浸水しない2階以上に対策本部の設置及び非常電源の設置等の対応を実施している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1108 1212 1187 1455">課題</td> <td data-bbox="1187 1212 2033 1455"> <ul style="list-style-type: none"> ■非常時に市町村庁舎や災害拠点病院等に水害リスク情報が確実に伝達されるか懸念される。 ■大規模水害時には、災害拠点となる市町村庁舎や災害拠点病院等が浸水し、機能が低下・停止しないようにすることが課題である。 </td> </tr> </table>	現状	<ul style="list-style-type: none"> ■浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等の立地状況を確認している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢洪水浸水想定区域内に該当する庁舎において、代替施設の設定、浸水しない2階以上に対策本部の設置及び非常電源の設置等の対応を実施している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ■非常時に市町村庁舎や災害拠点病院等に水害リスク情報が確実に伝達されるか懸念される。 ■大規模水害時には、災害拠点となる市町村庁舎や災害拠点病院等が浸水し、機能が低下・停止しないようにすることが課題である。
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■浸水想定区域内の災害拠点病院等の立地状況を確認している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢洪水浸水想定区域内に該当する庁舎において、代替施設の設定、浸水しない2階以上に対策本部の設置及び非常電源の設置等の対応を実施している。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■非常時に災害拠点病院等に水害リスク情報が確実に伝達されるか懸念される。 ■大規模水害時には、災害拠点となる庁舎が浸水し、機能が低下・停止しないようにすることが課題である。 								
現状	<ul style="list-style-type: none"> ■浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等の立地状況を確認している。 <ul style="list-style-type: none"> ➢洪水浸水想定区域内に該当する庁舎において、代替施設の設定、浸水しない2階以上に対策本部の設置及び非常電源の設置等の対応を実施している。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■非常時に市町村庁舎や災害拠点病院等に水害リスク情報が確実に伝達されるか懸念される。 ■大規模水害時には、災害拠点となる市町村庁舎や災害拠点病院等が浸水し、機能が低下・停止しないようにすることが課題である。 								

4.3 氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組

【P排水施設・排水機材に関する課題】

現状	<ul style="list-style-type: none"> ■洪水時の樋門及び排水機場等の施設は操作規則を定めて操作を実施している。 ■関係機関が連携した排水訓練や樋門等の操作点検を出水期前に実施している。 ■排水ポンプや照明等の災害対策機器は平常時から定期的な保守点検を行うとともに、機材を扱う職員等への教育体制も確保し、常時災害発生に対応した出動態勢を確保している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■被害の最小化を目的に関係機関の連携によるポンプ運転調整を実施しているが地域住民の理解が十分なされていない。 ■大規模浸水時は効果的な排水作業を実施しなければ浸水が長期化する懸念がある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢大規模浸水時は既存排水施設が機能不全に陥るおそれがある。 ➢大規模水害時の関係機関が連携した氾濫水の排水のための操作・運用体制に課題がある。 ■洪水時の現地での樋門等の操作は危険を伴う。

4.4 河川管理施設の整備等に関する取組

【Q堤防等整備に関する課題】

現状	<ul style="list-style-type: none"> ■河川整備計画等に基づき、河川改修を実施している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川整備率（H28年度末時点での時間雨量50mm対応の河川整備率）が約6割であることから、引き続き河川整備の推進を図る必要がある。 ■特に全国中小河川の緊急点検結果を踏まえ、流下能力が不足している区間等については、水害の発生に対するリスクが高いことから、優先的に堤防等施設整備や河道掘削等を推進する必要がある。

【R河川管理に関する課題】

現状	<ul style="list-style-type: none"> ■河川の点検について、要領に基づき実施している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■人員が不足し、十分な点検ができないことが懸念される。

5. 減災のための目標

円滑かつ迅速確実な避難や安全な避難の実施、及び円滑かつ迅速な氾濫水の排除等の対策を実施するため、各構成員がそれぞれ又は、連携して平成33年度までに達成すべき減災目標は、以下の通りとした。

4.3 氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組

【P排水施設・排水機材に関する課題】

現状	<ul style="list-style-type: none"> ■洪水時の樋門及び排水機場等の施設は操作規則を定めて操作を実施している。 ■関係機関が連携した排水訓練や樋門等の操作点検を出水期前に実施している。 ■排水ポンプや照明等の災害対策機器は平常時から定期的な保守点検を行うとともに、機材を扱う職員等への教育体制も確保し、常時災害発生に対応した出動態勢を確保している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■被害の最小化を目的に関係機関の連携によるポンプ運転調整を実施しているが地域住民の理解が十分なされていない。 ■大規模浸水時は効果的な排水作業を実施しなければ浸水が長期化する懸念がある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢大規模浸水時は既存排水施設が機能不全に陥るおそれがある。 ➢大規模水害時の関係機関が連携した氾濫水の排水のための操作・運用体制に課題がある。 ■洪水時の現地での樋門等の操作は危険を伴う。

4.4 河川管理施設の整備等に関する取組

【Q堤防等整備に関する課題】

現状	<ul style="list-style-type: none"> ■河川整備計画等に基づき、河川改修を実施している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■河川整備率（令和2年度末時点での時間雨量50mm対応の河川整備率）が約6割であることから、引き続き河川整備の推進を図る必要がある。 ■特に全国中小河川の緊急点検結果を踏まえ、流下能力が不足している区間等については、水害の発生に対するリスクが高いことから、優先的に堤防等施設整備や河道掘削等を推進する必要がある。

【R河川管理に関する課題】

現状	<ul style="list-style-type: none"> ■河川の点検について、要領に基づき実施している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■人員が不足し、十分な点検ができないことが懸念される。

5. 減災のための目標

円滑かつ迅速確実な避難や安全な避難の実施、及び円滑かつ迅速な氾濫水の排除等の対策を実施するため、各構成員がそれぞれ又は、連携して令和8年度までに達成すべき減災目標は、以下の通りとした。

6. 概ね5年で実施する取組
 6.1.1 円滑かつ迅速な避難のための取組
 ①災害時の情報伝達、避難計画等に関する事項
【住民への情報伝達】

主な項目	課題対応	取組機関
・水害危険性の周知促進	A 災害時の住民への情報伝達 B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 C 避難勧告等の発令 D 避難場所、避難経路の確保	市町村 県
・防災情報総合サイトの活用と周知（防災情報等の取得方法の周知）	A 災害時の住民への情報伝達	市町村 県
・様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化、多重化（確実な情報伝達のための整備）	A 災害時の住民への情報伝達	市町村
・水防災に関する説明会や避難訓練の開催（避難情報等の取得方法の周知・実践）	A 災害時の住民への情報伝達 G 平時の水害リスク周知	市町村 県
・危機管理型水位計等の設置検討	A 災害時の住民への情報伝達 B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 C 避難勧告等の発令 J 河川の状況の把握	市町村 県
・水防団や自治会が参加し、洪水リスクが高い区間の共同点検等の実施	A 災害時の住民への情報伝達 I 避難訓練に関する課題	市町村 県

【行政・水防関係機関間の防災情報の共有】

主な項目	課題対応	取組機関
・洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）	B 災害時の防災情報の共有 C 避難勧告等の発令	市町村 県
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練等の実施（確実な情報伝達のための準備）	B 災害時の防災情報の共有	市町村 県

6. 概ね5年で実施する取組
 6.1.1 円滑かつ迅速な避難のための取組
 ①災害時の情報伝達、避難計画等に関する事項
【A災害時の住民への情報伝達】

主な項目	課題対応	取組機関
①水害危険性の周知促進	A 災害時の住民への情報伝達 B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 C 避難指示等の発令 D 避難場所や避難経路の確保	市町村 県
②防災情報総合サイトの活用と周知（防災情報等の取得方法の周知）	A 災害時の住民への情報伝達	市町村 県
③様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化、多重化（確実な情報伝達のための整備）	A 災害時の住民への情報伝達	市町村
④水防災に関する説明会や避難訓練の開催（避難情報等の取得方法の周知・実践）	A 災害時の住民への情報伝達 G 平時の水害リスク周知	市町村 県
⑤危機管理型水位計等の設置検討	A 災害時の住民への情報伝達 B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 C 避難指示等の発令 J 河川の状況の把握	市町村 県
⑥水防団や自治会が参加し、洪水リスクが高い区間の共同点検等の実施	A 災害時の住民への情報伝達 I 避難訓練	市町村 県

【B行政・水防関係機関間の防災情報の共有】

主な項目	課題対応	取組機関
⑦洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）	B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 C 避難指示等の発令	市町村 県
⑧水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練等の実施（確実な情報伝達のための準備）	B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有	市町村 県

・避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認（水害対応タイムラインを作成）	B 災害時の防災情報の共有 C 避難勧告等の発令	市町村 県 気象台
・災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	B 災害時の防災情報の共有	市町村
・「流域雨量指数の予測値」、「洪水警報の危険度分布」等の防災気象情報の提供	B 災害時の防災情報の共有 C 避難勧告等の発令	気象台

【避難勧告等の発令】

主な項目	課題対応	取組機関
・避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認・見直し	C 避難勧告等の発令	市町村 県 気象台
・夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成及び避難誘導體制の検討	C 避難勧告等の発令	市町村

【避難場所や避難経路の確保】

主な項目	課題対応	取組機関
・隣接市町村における避難場所の設置（広域避難体制の構築）等	D 避難場所、避難経路の確保 E 住民の避難行動	市町村 県
・浸水や土砂災害による交通途絶を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	D 避難場所、避難経路の確保 E 住民の避難行動・避難計画	市町村
・避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	D 避難場所、避難経路の確保 E 住民の避難行動・避難計画	市町村

⑨避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認（水害対応タイムライン）	B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 C 避難指示等の発令	市町村 県 気象台
⑩「流域雨量指数の予測値」、「洪水警報の危険度分布」等の防災気象情報の提供	B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 C 避難指示等の発令	気象台
⑪多機関連携型タイムラインの検討	B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 C 避難指示等の発令	市町村 県 気象台 他
⑫ダムの放流情報を活用した避難体制の確立	B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 C 避難指示等の発令	市町村 県

【C避難指示等の発令】

主な項目	課題対応	取組機関
⑬避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認・見直し	C 避難指示等の発令	市町村 県 気象台
⑭夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成及び避難誘導體制の検討	C 避難指示等の発令 D 避難場所や避難経路の確保 E 住民の避難行動	市町村

【D避難場所や避難経路の確保】

主な項目	課題対応	取組機関
⑮隣接市町村における避難場所の設置（広域避難体制の構築）等	B 行政・水防関係機関間の防災情報の共有 D 避難場所や避難経路の確保 E 住民の避難行動	市町村 県
⑯浸水や土砂災害による交通途絶を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	D 避難場所や避難経路の確保 E 住民の避難行動・避難計画	市町村
⑰避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	D 避難場所や避難経路の確保 E 住民の避難行動・避難計画	市町村

【要配慮者の避難】		
主な項目	課題対応	取組機関
・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施を支援・指導	D 避難場所、避難経路の確保 E 住民の避難行動 F 要配慮者の避難 I 避難訓練	市町村 県
・要配慮者利用施設のほか、地下施設、大規模工場への対応等を考慮した避難計画の検討、施設管理者による計画案の作成の支援	A 住民への情報伝達 F 要配慮者の避難	市町村 県

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
【平時の水害リスク周知】

主な項目	課題対応	取組機関
・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と周知（大規模災害時の水害リスク周知）	D 避難場所や避難経路の確保 G リスクの周知	市町村 県
・水害ハザードマップの改良、周知、活用	G リスクの周知	市町村 県

【E住民の避難行動】		
主な項目	課題対応	取組機関
⑱マイ・タイムラインの作成・マイ防災マップ作成等（防災意識の向上）	E 住民の避難行動 H 防災意識の啓発	市町村 県

【F要配慮者利用施設や地下施設、大規模工場等の避難】

主な項目	課題対応	取組機関
⑲要配慮者利用施設における避難確保計画の作成を支援・指導	D 避難場所や避難経路の確保 E 住民の避難行動 F 要配慮者利用施設や地下施設、大規模工場等の避難 I 避難訓練	市町村 県
⑳要配慮者利用施設における避難訓練の実施を支援・指導	D 避難場所や避難経路の確保 E 住民の避難行動 F 要配慮者利用施設や地下施設、大規模工場等の避難 I 避難訓練	市町村 県
㉑要配慮者利用施設のほか、地下施設、大規模工場への対応等を考慮した避難計画の検討、施設管理者による計画案の作成の支援	D 避難場所や避難経路の確保 F 要配慮者利用施設や地下施設、大規模工場等の避難 I 避難訓練	市町村 県

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
【G平時の水害リスク周知】

主な項目	課題対応	取組機関
①想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と周知（大規模災害時の水害リスク周知）	D 避難場所や避難経路の確保 G 平時の水害リスクの周知	市町村 県
②水害ハザードマップの改良、周知、活用	D 避難場所や避難経路の確保 G 平時の水害リスクの周知	市町村 県

・浸水実績等の周知（浸水実績等に関する情報の共有、住民等への周知）	G リスクの周知 H 防災意識の啓発	市町村 県
・「まるごとまちごとハザードマップ」の検討、案内板の整備等	E 住民の避難行動 G リスクの周知 H 防災意識の啓発	市町村

③浸水実績等の周知（浸水実績等に関する情報の共有、住民等への周知）	G 平時の水害リスクの周知 H 防災意識の啓発	市町村 県
④「まるごとまちごとハザードマップ」の検討、案内板の整備等	E 住民の避難行動 G 平時の水害リスクの周知 H 防災意識の啓発	市町村 県
⑤水害リスク情報の空白地帯の解消（水位周知河川以外の河川の浸水想定区域図等の作成・公表）	D 避難場所や避難経路の確保 G 平時の水害リスクの周知	市町村 県
⑥内水ハザードマップの作成・周知・活用	D 避難場所や避難経路の確保 G 平時の水害リスクの周知	市町村 県

【防災意識の啓発】

主な項目	課題対応	取組機関
・防災教育の促進	A 住民への情報伝達 G リスクの周知 H 防災意識の啓発 I 避難訓練	市町村 県 気象台
・マイ防災マップづくり（防災意識向上）	H 防災意識の啓発	市町村
・水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	H 防災意識の啓発 N 水防技術の維持・向上	市町村 県 気象台
・水防に関する広報の充実	G リスクの周知 H 防災意識の啓発 L 河川巡視 M 人材確保 N 水防技術の維持・向上	市町村 県

【H防災意識の啓発】

主な項目	課題対応	取組機関
⑦防災教育の促進	A 住民への情報伝達 G 平時の水害リスクの周知 H 防災意識の啓発 I 避難訓練	市町村 県 気象台
⑧水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	H 防災意識の啓発 N 水防訓練	市町村 県 気象台
⑨水防に関する広報の充実	G 平時の水害リスクの周知 H 防災意識の啓発 L 河川巡視 M 水防団等 N 水防訓練	市町村 県
⑩地域防災力の向上のための人材育成	E 住民の避難行動 G 平時の水害リスクの周知 H 防災意識の啓発	市町村 県
⑪共助の仕組みの強化	E 住民の避難行動 G 平時の水害リスクの	市町村

<p>③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項</p> <p>【水防資機材】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な項目</th> <th>課題対応</th> <th>取組機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・河川防災ステーションの整備・活用の検討</td> <td>K水防資機材</td> <td>市町村 県</td> </tr> <tr> <td>・氾濫水を迅速に排水するための緊急排水計画の検討・策定</td> <td>K水防資機材</td> <td>市町村 県</td> </tr> <tr> <td>・水防資器材の保有状況の確認、配備資器材の見直し、新技術の活用等</td> <td>K水防資器材</td> <td>市町村 県</td> </tr> </tbody> </table> <p>6.1.2 的確な水防活動のための取組</p> <p>①水防体制の強化に関する事項</p> <p>【河川巡視】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な項目</th> <th>課題対応</th> <th>取組機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・重要水防箇所の共同点検による情報の共有</td> <td>L河川巡視 N水防技術の維持・向上</td> <td>市町村 県</td> </tr> <tr> <td>・水防団間での連携、協力に関する検討（人員確保による確実な巡視の実行や大規模氾濫時の効率的な巡視）</td> <td>L河川巡視</td> <td>市町村 県</td> </tr> </tbody> </table> <p>【人材確保】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な項目</th> <th>課題対応</th> <th>取組機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化</td> <td>M人材確保</td> <td>市町村</td> </tr> </tbody> </table> <p>【水防技術の維持・向上】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な項目</th> <th>課題対応</th> <th>取組機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・水防訓練の充実</td> <td>L河川巡視</td> <td>市町村</td> </tr> </tbody> </table>			主な項目	課題対応	取組機関	・河川防災ステーションの整備・活用の検討	K水防資機材	市町村 県	・氾濫水を迅速に排水するための緊急排水計画の検討・策定	K水防資機材	市町村 県	・水防資器材の保有状況の確認、配備資器材の見直し、新技術の活用等	K水防資器材	市町村 県	主な項目	課題対応	取組機関	・重要水防箇所の共同点検による情報の共有	L河川巡視 N水防技術の維持・向上	市町村 県	・水防団間での連携、協力に関する検討（人員確保による確実な巡視の実行や大規模氾濫時の効率的な巡視）	L河川巡視	市町村 県	主な項目	課題対応	取組機関	・関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	M人材確保	市町村	主な項目	課題対応	取組機関	・水防訓練の充実	L河川巡視	市町村
主な項目	課題対応	取組機関																																	
・河川防災ステーションの整備・活用の検討	K水防資機材	市町村 県																																	
・氾濫水を迅速に排水するための緊急排水計画の検討・策定	K水防資機材	市町村 県																																	
・水防資器材の保有状況の確認、配備資器材の見直し、新技術の活用等	K水防資器材	市町村 県																																	
主な項目	課題対応	取組機関																																	
・重要水防箇所の共同点検による情報の共有	L河川巡視 N水防技術の維持・向上	市町村 県																																	
・水防団間での連携、協力に関する検討（人員確保による確実な巡視の実行や大規模氾濫時の効率的な巡視）	L河川巡視	市町村 県																																	
主な項目	課題対応	取組機関																																	
・関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	M人材確保	市町村																																	
主な項目	課題対応	取組機関																																	
・水防訓練の充実	L河川巡視	市町村																																	

<p>周知 H防災意識の啓発</p> <p>【I避難訓練】 AやF、Hの課題に対する取組と重複するため、記載省略</p> <p>③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項</p> <p>【J河川の状況把握】 AやBの課題に対する取組と重複するため、記載省略</p> <p>【K水防資機材】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な項目</th> <th>課題対応</th> <th>取組機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①河川防災ステーションの整備・活用の検討</td> <td>K水防資機材</td> <td>市町村 県</td> </tr> <tr> <td>②水防資機材の保有状況の確認、配備資器材の見直し、新技術の活用等</td> <td>K水防資機材</td> <td>市町村 県</td> </tr> </tbody> </table> <p>6.1.2 的確な水防活動のための取組</p> <p>①水防体制の強化に関する事項</p> <p>【L河川巡視】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な項目</th> <th>課題対応</th> <th>取組機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①重要水防箇所の共同点検による情報の共有</td> <td>L河川巡視 N水防訓練</td> <td>市町村 県</td> </tr> <tr> <td>②水防団間での連携、協力に関する検討（人員確保による確実な巡視の実行や大規模氾濫時の効率的な巡視）</td> <td>L河川巡視</td> <td>市町村 県</td> </tr> </tbody> </table> <p>【M水防団等】 Nの課題に対する取組と重複するため、記載省略</p> <p>【N水防訓練】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な項目</th> <th>課題対応</th> <th>取組機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③水防訓練の充実</td> <td>L河川巡視</td> <td>市町村</td> </tr> </tbody> </table>			主な項目	課題対応	取組機関	①河川防災ステーションの整備・活用の検討	K水防資機材	市町村 県	②水防資機材の保有状況の確認、配備資器材の見直し、新技術の活用等	K水防資機材	市町村 県	主な項目	課題対応	取組機関	①重要水防箇所の共同点検による情報の共有	L河川巡視 N水防訓練	市町村 県	②水防団間での連携、協力に関する検討（人員確保による確実な巡視の実行や大規模氾濫時の効率的な巡視）	L河川巡視	市町村 県	主な項目	課題対応	取組機関	③水防訓練の充実	L河川巡視	市町村
主な項目	課題対応	取組機関																								
①河川防災ステーションの整備・活用の検討	K水防資機材	市町村 県																								
②水防資機材の保有状況の確認、配備資器材の見直し、新技術の活用等	K水防資機材	市町村 県																								
主な項目	課題対応	取組機関																								
①重要水防箇所の共同点検による情報の共有	L河川巡視 N水防訓練	市町村 県																								
②水防団間での連携、協力に関する検討（人員確保による確実な巡視の実行や大規模氾濫時の効率的な巡視）	L河川巡視	市町村 県																								
主な項目	課題対応	取組機関																								
③水防訓練の充実	L河川巡視	市町村																								

	M人材確保 N水防技術の維持・向上	県
・水防団間での連携、協力に関する検討（大規模な氾濫に対する効果的な訓練）	N水防技術の維持・向上	市町村

②市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防に関する事項
【災害時における庁舎・拠点病院等の自衛水防の推進】

主な項目	課題対応	取組機関
・市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保ための対策の充実	○災害時における庁舎・拠点病院等の自衛水防の推進	市町村

6.1.3 氾濫水の排水、浸水被害の軽減に関する取組
【排水施設・排水機材】

主な項目	課題対応	取組機関
・排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	P 氾濫水の排水	市町村 県
・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	P 氾濫水の排水	市町村 県
・排水計画に基づく排水訓練の実施	P 氾濫水の排水	市町村

6.1.4 河川管理施設の設備に関する取組
【堤防等の整備】

主な項目	課題対応	取組機関
・堤防等河川管理施設の整備状況を関係機関と共有	Q 堤防等の整備	市町村 県
・決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防構造の工夫（危機管理型ハ	Q 堤防等の整備	県

	M水防団等 N水防訓練	県
④水防団間での連携、協力に関する検討（大規模な氾濫に対する効果的な訓練）	N水防訓練	市町村 県

②市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防に関する事項
【○市町村庁舎・災害拠点病院等の自衛水防の推進】

主な項目	課題対応	取組機関
①市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保ための対策の充実	○市町村庁舎・災害拠点病院等の自衛水防の推進	市町村 県
②市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	○市町村庁舎・災害拠点病院等の自衛水防の推進	市町村 県
③業務継続計画（BCP）の策定	○市町村庁舎・災害拠点病院等の自衛水防の推進	市町村 県

6.1.3 氾濫水の排水、浸水被害の軽減に関する取組
【P排水施設・排水機材】

主な項目	課題対応	取組機関
①排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	P 排水施設・排水機材	市町村 県
②樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	P 排水施設・排水機材	市町村 県
③排水計画に基づく排水訓練の実施	P 排水施設・排水機材	市町村
④氾濫水を迅速に排水するための緊急排水計画の検討・策定	P 排水施設・排水機材	市町村 県

6.1.4 河川管理施設の設備に関する取組
【Q堤防等の整備】

主な項目	課題対応	取組機関
①堤防等河川管理施設の整備状況を関係機関と共有	Q 堤防等の整備	市町村 県
②決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防構造の工夫（危機管理型ハ	Q 堤防等の整備	県

ード対策)		
・堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）	Q堤防等の整備	県

【河川管理】

主な項目	課題対応	取組機関
・効率的な点検方法の検討（ドローン等の活用を含む）	R河川管理上の課題	県
・河川管理施設の適切な維持管理の推進	R河川管理上の課題	県

7. フォローアップ

ード対策)		
③堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）	Q堤防等の整備	県

【R河川管理】

主な項目	課題対応	取組機関
④効率的な点検方法の検討（ドローン等の活用を含む）	R河川管理	県
⑤河川管理施設の適切な維持管理の推進	R河川管理	県

7. フォローアップ